「東京六戸会」たより 107

＝新年のご挨拶＝

東京六戸会々長
高坂　忠

新年明けましておめでとうございます。

東京六戸会の皆様には晴れやかな新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は温かいご支援、ご協力をいただきありがとうございました。

東京六戸会は今年で13年目を迎えることができましたが、これも会員の皆様はじめ、六戸町の皆様のご理解とご支援によるものとお礼申し上げます。

さて、昨年もいろいろな出来事がありました。

期待を背負って発足した民主党政権は7月の参議院選挙で敗北し、沖縄米軍基地移転問題、尖閣諸島事件など内政・外交で混迷を極めています。

景気の面ではエコカー補助金、家電・住宅のエコポイントなどの景気対策で企業の業績は回復傾向にあるようですが、学生の就職内定率は前年にも増して悪化し、「超就職氷河期」と評されるほどの不安な雇用状況が続いています。

このような現状の中、与野党には、年金改革や消費税などの重要法案について「国民目線」による国会論議を深め、私たちが前途に光明を見出せる状況を作り出すことを望まずにはいられません。今のままでは政治不信を増すばかりと思われます。

東京六戸会では秋の親睦行事として「横須賀軍港めぐりと猿島クルージング」を計画し、37名ものお申し込みをいただきましたが、台風14号の直撃という事態となり、残念ながら中止せざるを得ませんでした。今回の計画は本年度に再度実施する予定ですので多数の皆様のご参加をお願い申し上げる次第です。

また、去る11月10日には修学旅行で東京に来られた七百中2年生44名の皆さんとの間で、「七百中先輩講話会」が開催されました。

当日は私と田中章雄副会長、下田達也理事の3人が出席し、「郷土の中学生に望むこと」と題して、下田理事（七百中昭和62年度卒）に語っていただきました。（詳細は来月号の本欄にて下田理事の寄稿を掲載いたします）

生徒さんたちからは、パソコンとスライドを駆使して普段の学校生活の様子を紹介してもらいましたが、その手際の良さに感心いたしました。

東京六戸会ではかねてより、ふるさと六戸町との交流活動について様々に論議しておりましたが、今回この様な形で実現することができ、大変嬉しく思っております。今後もふるさと六戸町との交流を様々な形で広げて行きたいと考えております。

今期の総会は昨年と同じく4月に開催する予定です。総会の日時・場所については2月の役員会で決定し、「広報ろくのへ」3月号紙面及び当会ホームページにてお知らせいたします。多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

最後になりますが今年も東京六戸会の皆様にとりまして素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

東京六戸会々長・高坂　忠
（七百中33年度卒）

※お知り合い・親戚の方で東京六戸会入会ご希望の方をお知らせ下さい。年会費は千円です。

◎東京六戸会事務局
〒276－0045
千葉県八千代市大和田151－5
沼澤　強（七百中32年度卒）
☎　047－484－9426
FAX　047－484－9427
携帯電話
090－8312－9452
Eメール
numa@newman-tech.co.jp
◎東京六戸会ホームページ
http://www.rokunohe-tokyo.com/